

TOYO TIRES

**2025年度通期
決算説明資料**

2026年2月13日

TOYO TIRE 株式会社

1. 2025年度 通期実績

2. 2026年度 業績予想

3. 経営施策 進捗状況

- 売上高は**過去最高となる 5,949億円**を計上
- コスト増加などがあったものの、**営業利益も過去最高となる 974億円**を計上
- 減損損失を計上したことなどから、**当期純利益は減少**も、
1株あたり**年間配当金は増配となる 130円**（創立80周年記念配当 5円を含む）
- 2026年度の通期業績予想は、**営業利益 940億円**（前提為替レート：145円/\$）
- 1株あたり**年間配当予想は 135円と増配**を予想

過去最高とは、決算期を変更した2013年以降の業績におけるもの

(百万円)	2025年度 1-12月実績	2024年度 1-12月実績	対前年度 増減額	対前年度 増減率	2025年度 1-12月予想	対予想 増減額	2025年度 10-12月実績	対前年度 増減額
売上高	594,923	565,358	+29,564	+5.2%	590,000	+4,923	159,633	+14,884
営業利益	97,350	93,981	+3,369	+3.6%	95,000	+2,350	25,282	+7,539
営業利益率	16.4%	16.6%	—	—	16.1%	—	15.8%	—
経常利益	101,328	102,117	△789	△0.8%	90,000	+11,328	30,616	+6,306
当期純利益	63,614	74,810	△11,196	△15.0%	65,000	△1,385	10,556	△9,057

※当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益

1株当たり 年間配当金	130円	120円	+ 10円
米ドル	150円	151円	△ 1円
ユーロ	169円	164円	+ 5円

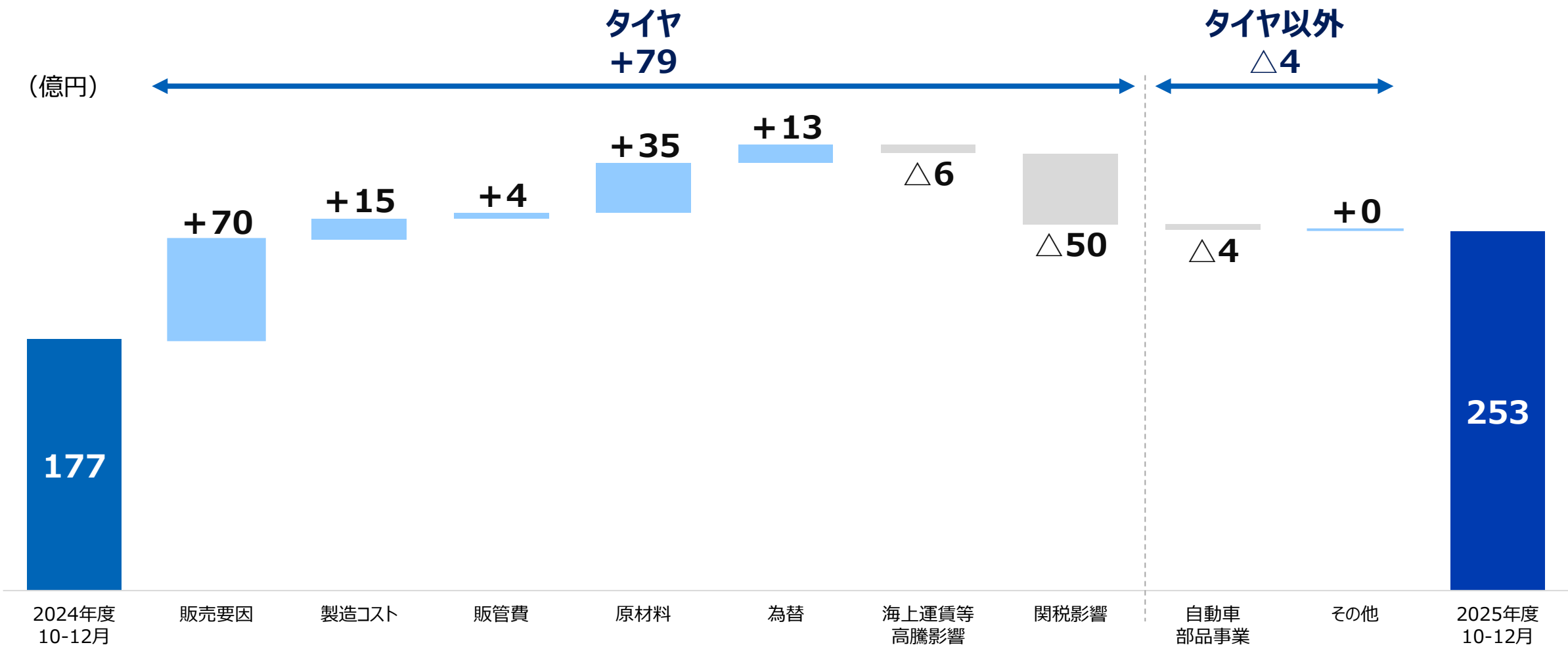
中計'21 重要経営指標

連結営業利益率	14%超
配当性向	30%以上

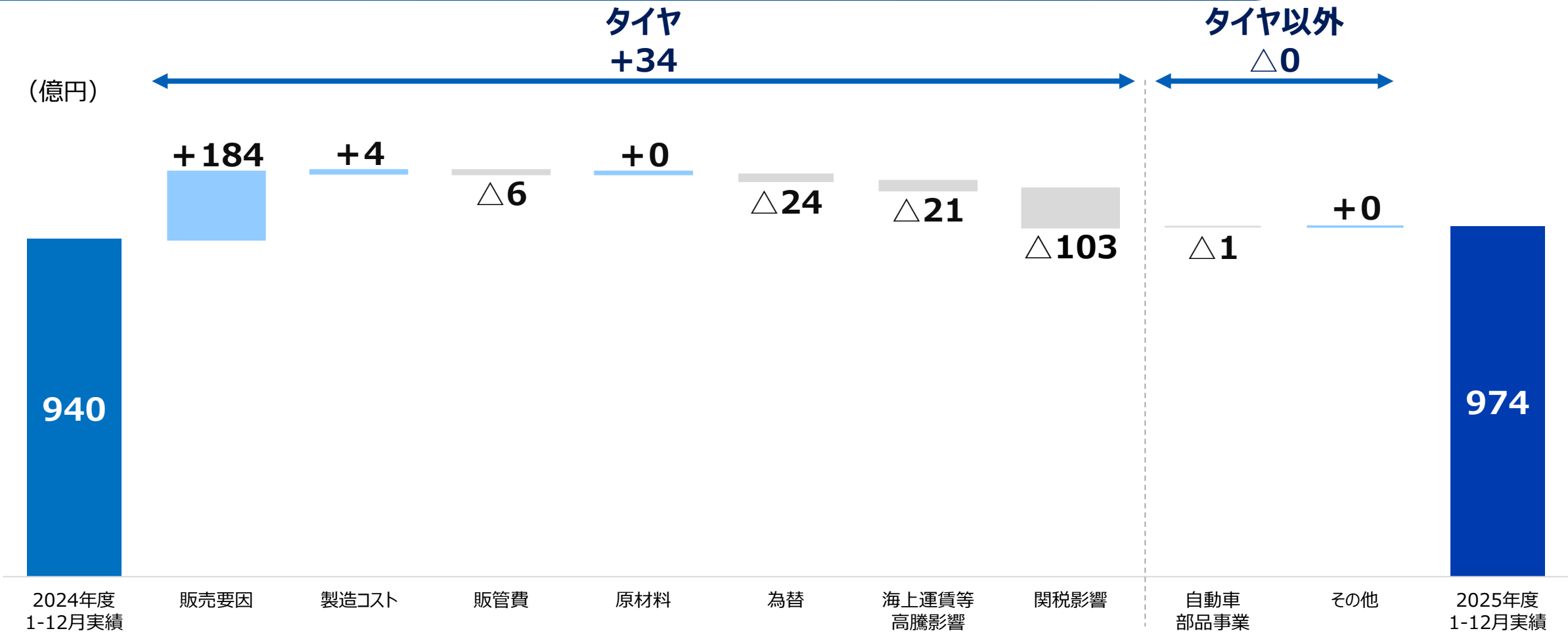
2025年度通期 為替感応度

米ドル	8億円/年
ユーロ	1億円/年

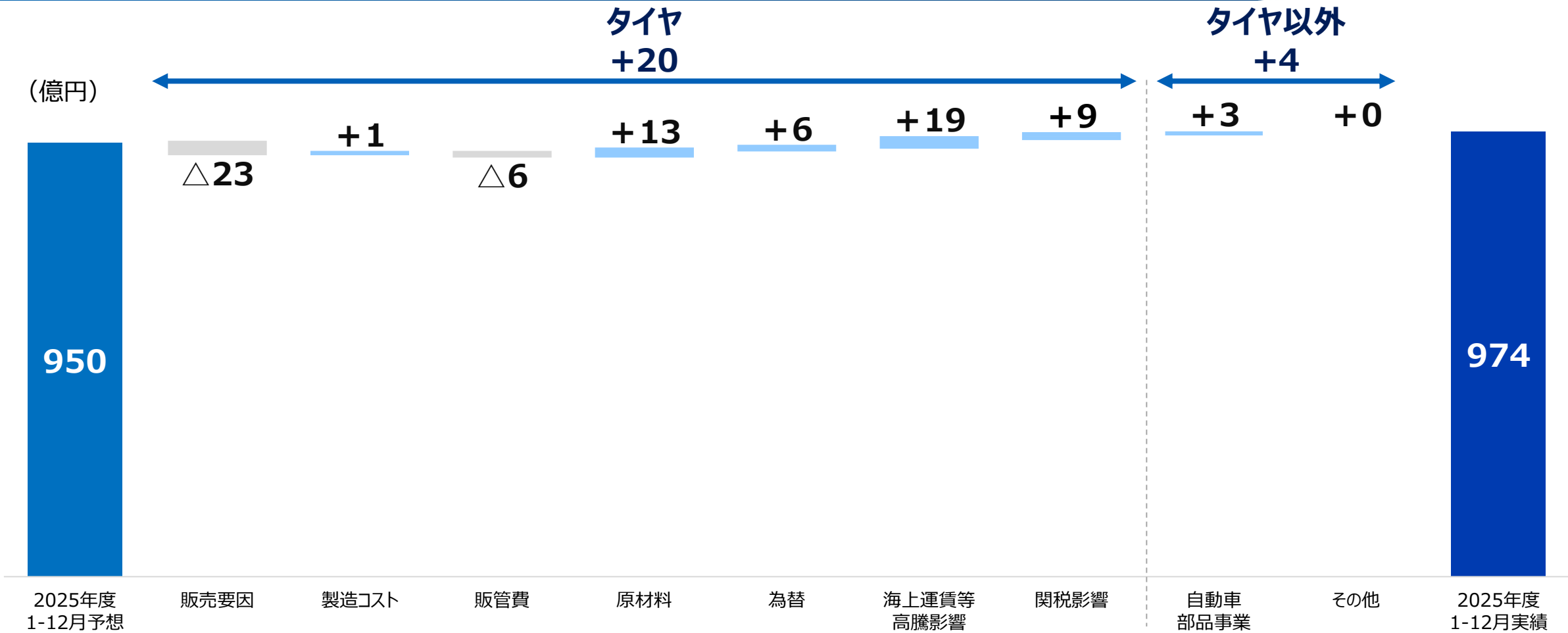
営業利益ベースで1円の変動につき



	販売要因	製造コスト	販管費	原材料	為替	海上運賃等高騰影響	関税影響	自動車部品事業	その他	合計
1-3月実績	+23	△25	△9	△28	+6	△5	－	+2	+0	△36
4-6月実績	+91	+7	+0	△23	△29	△2	△4	+2	△0	+42
7-9月実績	+0	+8	△2	+17	△14	△7	△48	△1	+0	△48



	販売要因	製造コスト	販管費	原材料	為替	海上運賃等高騰影響	関税影響	自動車部品事業	その他	合計
1-9月実績	+114	△11	△10	△35	△37	△14	△52	+3	△0	△42
10-12月実績	+70	+15	+4	+35	+13	△6	△50	△4	+0	+75



	販売要因	製造コスト	販管費	原材料	為替	海上運賃等高騰影響	関税影響	自動車部品事業	その他	合計
10-12月予想	+92	+14	+10	+22	+7	△26	△60	△7	△0	+52
10-12月実績	+70	+15	+4	+35	+13	△6	△50	△4	+0	+75

(百万円)

売上高

	2025年度 1-12月実績	2024年度 1-12月実績	対前年度 増減額	対前年度 増減率	2025年度 1-12月予想	対予想 増減額	2025年度 10-12月実績	対前年度 増減額
タイヤ	547,697	519,832	+27,865	+5.4%	544,000	+3,697	147,445	+14,759
自動車部品	47,225	45,526	+1,699	+3.7%	46,000	+1,225	12,188	+124
その他	—	0	△0	—	—	—	—	—
調整額	—	△0	+0	—	—	—	—	—
合計	594,923	565,358	+29,564	+5.2%	590,000	+4,923	159,633	+14,884

※売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高を含む。

営業利益

	2025年度 1-12月実績	2024年度 1-12月実績	対前年度 増減額	対前年度 増減率	2025年度 1-12月予想	対予想 増減額	2025年度 10-12月実績	対前年度 増減額
タイヤ	95,509	92,089	+3,419	+3.7%	93,500	+2,009	25,128	+7,919
営業利益率	17.4%	17.7%	—	—	17.2%	—	17.0%	—
自動車部品	1,821	1,880	△58	△3.1%	1,500	+321	150	△385
営業利益率	3.9%	4.1%	—	—	3.3%	—	1.2%	—
その他	19	10	+8	+82.0%	—	+19	3	+5
調整額	—	0	△0	—	—	—	—	△0
合計	97,350	93,981	+3,369	+3.6%	95,000	+2,350	25,282	+7,539

※セグメント利益の調整額は、セグメント間取引の消去額等を含む。

(百万円)

売上高

	2025年度 1-12月実績	2024年度 1-12月実績	対前年度 増減額	対前年度 増減率	2025年度 1-12月予想	対予想 増減額	2025年度 10-12月実績	対前年度 増減額
日本	121,985	116,911	+5,074	+4.3%	124,100	△2,115	36,379	△1,211
北米	403,915	373,099	+30,816	+8.3%	397,300	+6,615	105,755	+18,323
その他	69,021	75,348	△6,326	△8.4%	68,600	+421	17,499	△2,227
消去または全社	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	594,923	565,358	+29,564	+5.2%	590,000	+4,923	159,633	+14,884

※売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高を含まず。

営業利益

	2025年度 1-12月実績	2024年度 1-12月実績	対前年度 増減額	対前年度 増減率	2025年度 1-12月予想	対予想 増減額	2025年度 10-12月実績	対前年度 増減額
日本	64,094	60,462	+3,631	+6.0%	64,100	△6	19,744	+9,323
北米	17,989	21,891	△3,901	△17.8%	17,800	+189	3,824	△1,498
その他	15,559	8,355	+7,204	+86.2%	13,200	+2,359	3,402	+465
消去または全社	△ 293	3,271	△3,565	—	△100	△193	△1,689	△751
合計	97,350	93,981	+3,369	+3.6%	95,000	+2,350	25,282	+7,539

1. 2025年度 通期実績

2. 2026年度 業績予想

3. 経営施策 進捗状況

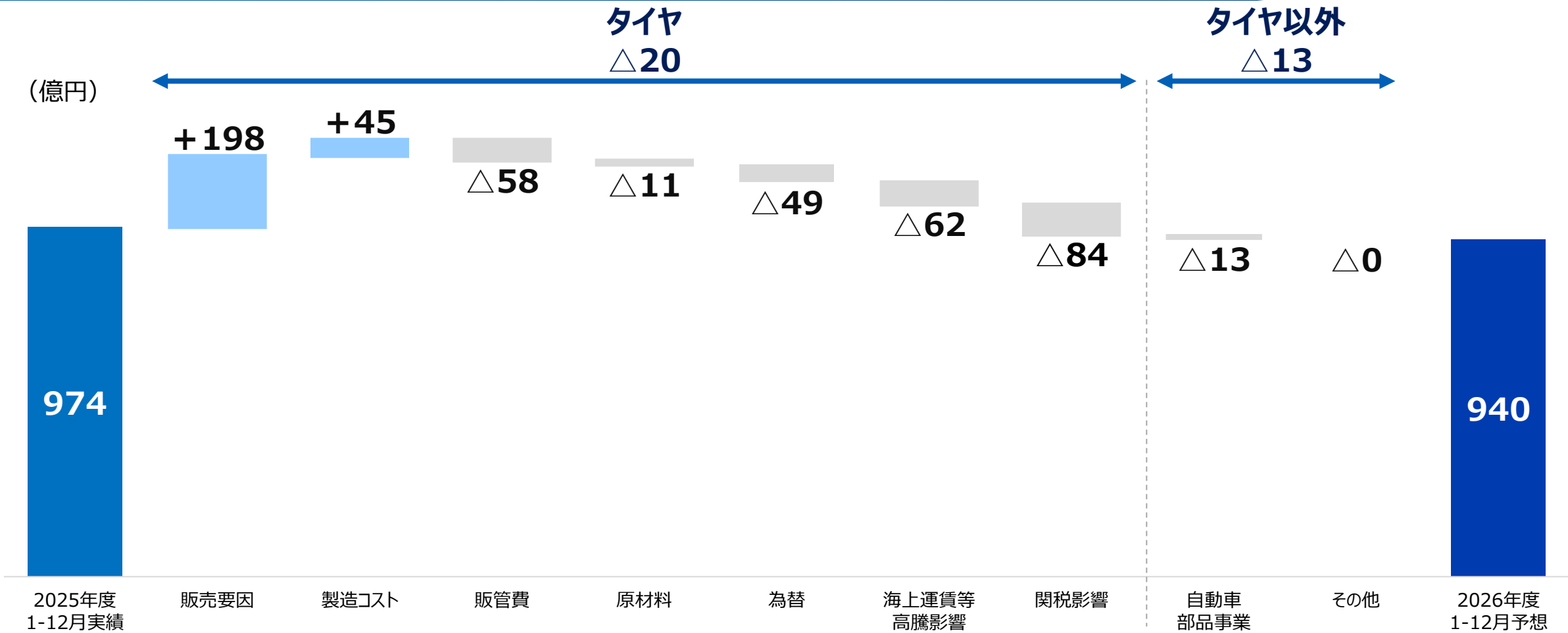
(百万円)	2026年度 1-12月予想	2025年度 1-12月実績	対前年度 増減額	対前年度 増減率	2026年度 1-6月予想	対前年度 増減額	2026年度 7-12月予想	対前年度 増減額
売上高	620,000	594,923	+ 25,076	+4.2%	296,000	+ 12,589	324,000	+12,487
営業利益	94,000	97,350	△ 3,350	△ 3.4%	42,000	△ 6,176	52,000	+2,825
営業利益率	15.2%	16.4%	—	—	14.2%	—	16.0%	—
経常利益	82,000	101,328	△ 19,328	△ 19.1%	32,000	△ 11,730	50,000	△ 7,597
当期純利益	54,000	63,614	△ 9,614	△ 15.1%	20,000	△ 13,330	34,000	+3,716

※当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益

1株当たり 年間配当金	135円	130円	+5円
米ドル	145円	150円	△5円
ユーロ	170円	169円	+1円

2026年度通期 為替感応度	
米ドル	8億円/年
ユーロ	1億円/年

営業利益ベースで1円の変動につき



	販売要因	製造コスト	販管費	原材料	為替	海上運賃等 高騰影響	関税影響	自動車 部品事業	その他	合計
1-6月予想	+63	+30	$\Delta 22$	+20	$\Delta 17$	$\Delta 31$	$\Delta 98$	$\Delta 7$	$\Delta 0$	$\Delta 62$
7-12月予想	+135	+15	$\Delta 35$	$\Delta 30$	$\Delta 32$	$\Delta 31$	+14	$\Delta 6$	$\Delta 0$	+28

(百万円) 売上高	2026年度 1-12月予想	2025年度 1-12月実績	対前年度 増減額	対前年度 増減率
タイヤ	574,000	547,697	+26,302	+4.8%
自動車部品	46,000	47,225	△1,225	△2.6%
その他	—	—	—	—
調整額	—	—	—	—
合計	620,000	594,923	+25,076	+4.2%

※売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高を含む。

営業利益	2026年度 1-12月予想	2025年度 1-12月実績	対前年度 増減額	対前年度 増減率
タイヤ	93,500	95,509	△2,009	△2.1%
営業利益率	16.3%	17.4%	—	—
自動車部品	500	1,821	△1,321	△72.5%
営業利益率	1.1%	3.9%	—	—
その他	—	19	△19	—
調整額	—	—	—	—
合計	94,000	97,350	△3,350	△3.4%

※セグメント利益の調整額は、セグメント間取引の消去額等を含む。

2026年度 1-6月予想	対前年度 増減額	2026年度 7-12月予想	対前年度 増減額
273,000	+12,590	301,000	+13,711
23,000	△1	23,000	△1,224
—	—	—	—
—	—	—	—
296,000	+12,589	324,000	+12,487

2026年度 1-6月予想	対前年度 増減額	2026年度 7-12月予想	対前年度 増減額
41,600	△5,484	51,900	+3,475
15.2%	—	17.2%	—
400	△681	100	△639
1.7%	—	0.4%	—
—	△9	—	△10
—	—	—	—
42,000	△6,176	52,000	+2,825

(百万円)

売上高

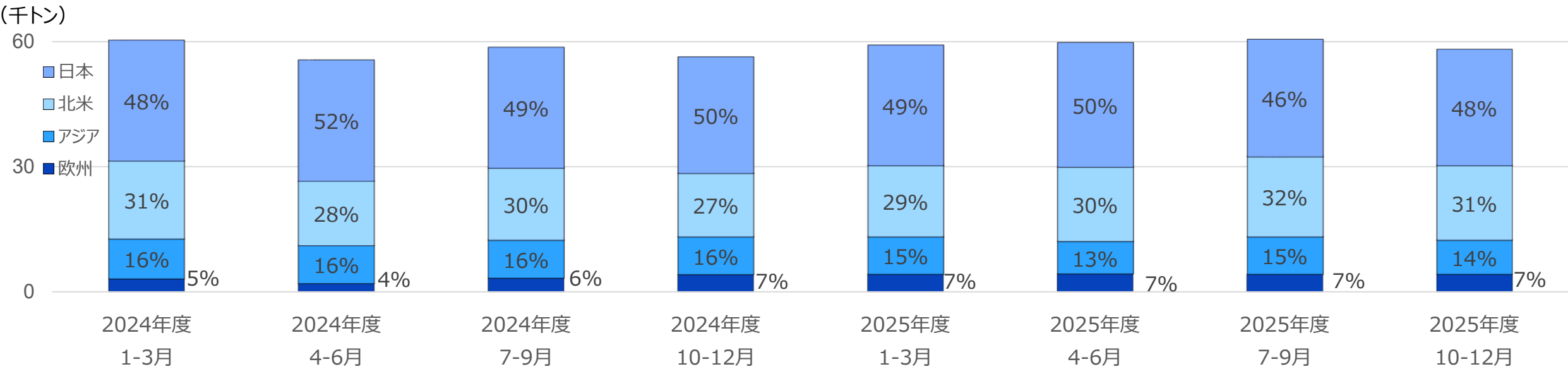
	2026年度 1-12月予想	2025年度 1-12月実績	対前年度 増減額	対前年度 増減率	2026年度 1-6月予想	対前年度 増減額	2026年度 7-12月予想	対前年度 増減額
日本	130,900	121,985	+8,914	+7.3%	58,500	+3,037	72,400	+5,876
北米	420,200	403,915	+16,284	+4.0%	200,600	+8,673	219,600	+7,610
その他	68,900	69,021	△121	△0.2%	36,900	+878	32,000	△999
消去または全社	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	620,000	594,923	+ 25,076	+ 4.2%	296,000	+ 12,589	324,000	+12,487

※売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高を含まず。

営業利益

	2026年度 1-12月予想	2025年度 1-12月実績	対前年度 増減額	対前年度 増減率	2026年度 1-6月予想	対前年度 増減額	2026年度 7-12月予想	対前年度 増減額
日本	69,900	64,094	+5,805	+9.1%	37,300	+7,367	32,600	△1,561
北米	11,300	17,989	△6,689	△37.2%	2,100	△8,237	9,200	+1,547
その他	15,200	15,559	△359	△2.3%	8,300	△665	6,900	+ 305
消去または全社	△2,400	△ 293	△2,106	—	△5,700	△4,640	3,300	+2,533
合計	94,000	97,350	△3,350	△3.4%	42,000	△6,176	52,000	+2,825

地域別生産量構成比

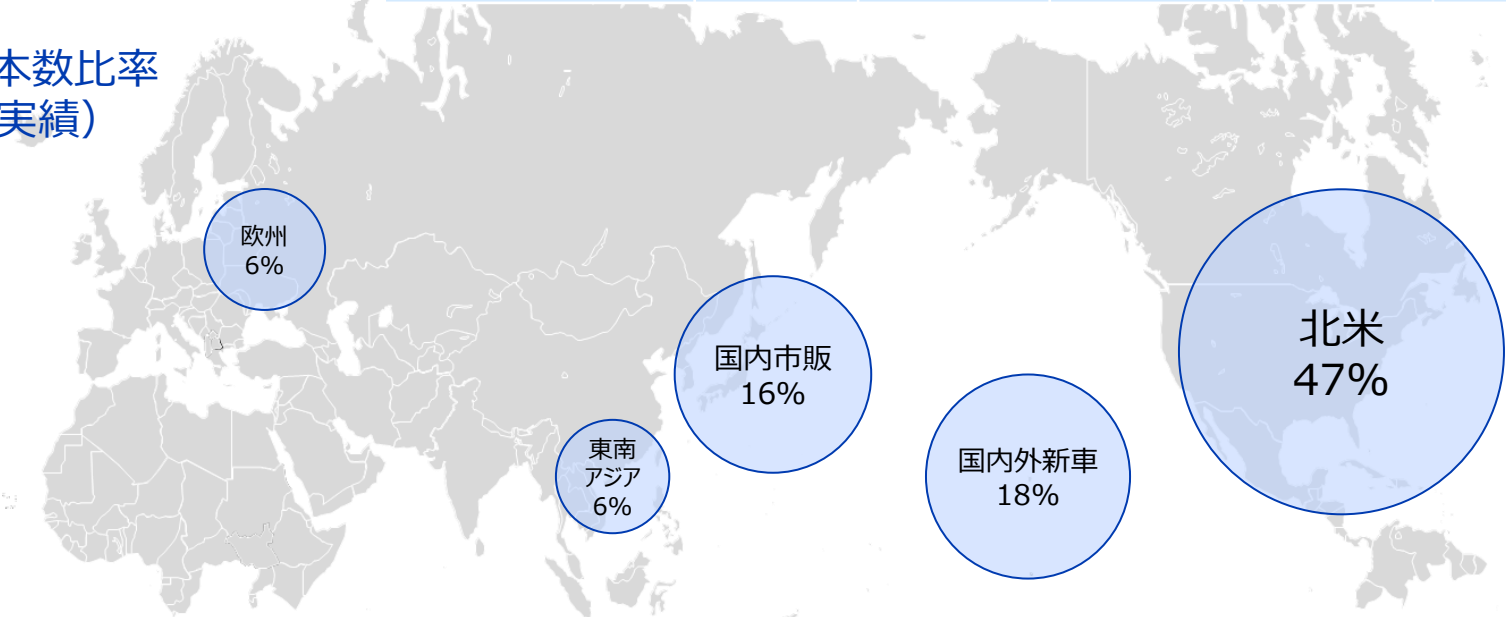


2024年度						2025年度					2026年度
1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-12月	単位:千トン	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-12月	1-12月予想
28.9	29.0	28.9	27.9	114.8	日本	28.8	29.8	28.1	27.8	114.6	122.2
18.7	15.5	17.3	15.2	66.8	北米	17.1	17.8	19.2	17.9	72.0	73.6
9.6	9.1	9.1	9.1	36.9	アジア	9.0	7.8	9.0	8.2	34.0	34.0
3.1	2.0	3.3	4.1	12.5	欧州	4.2	4.3	4.2	4.2	16.8	18.2
60.4	55.6	58.6	56.3	230.9	合計	59.1	59.7	60.5	58.1	237.4	247.9
96%	90%	93%	92%	93%	前年比率	98%	107%	103%	103%	103%	104%

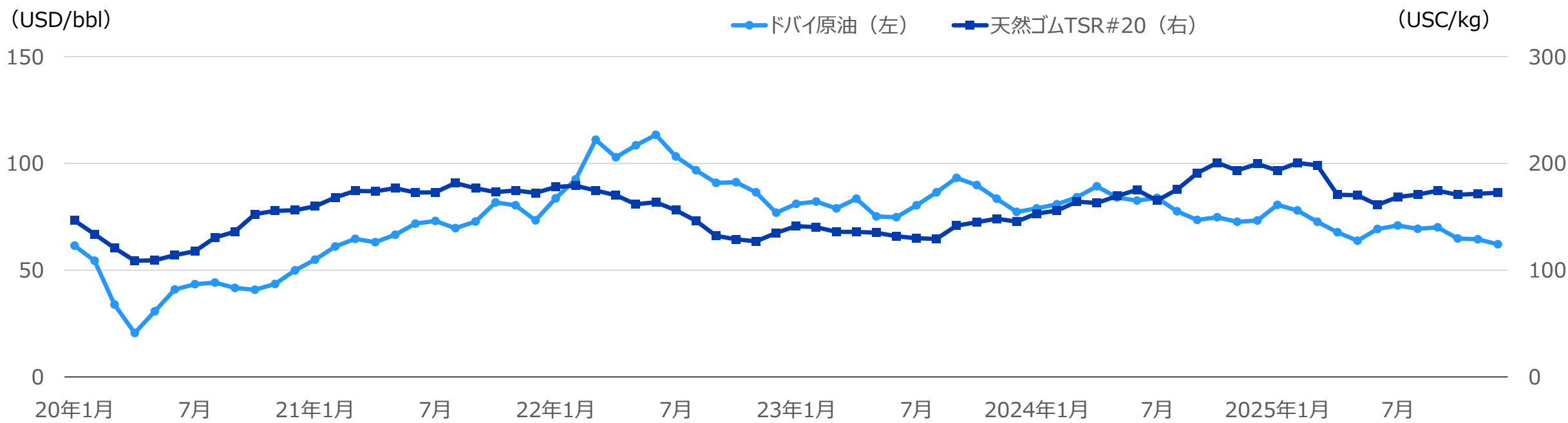
※前年同期間を100とした場合の前年比率 (%)

2024年度						2025年度					2026年度	
1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-12月		1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-12月	1-12月予想	
87	97	89	90	91	国内外新車	104	98	103	104	102	107	
77	85	85	88	84	国内市販	97	107	109	91	100	110	
88	99	93	101	95	海外市販	99	98	92	98	97	104	
93	100	99	98	98	内 訳	北米	105	100	100	108	104	
71	85	69	106	80		欧州	67	99	40	62	67	92
92	101	98	113	100		東南アジア	103	103	94	94	98	115
86	97	91	96	92	合 計	99	99	96	98	98	106	

参考：地域別販売本数比率
(2025年度実績)



トバイ原油・天然ゴムTSR#20価格推移（SICOM）

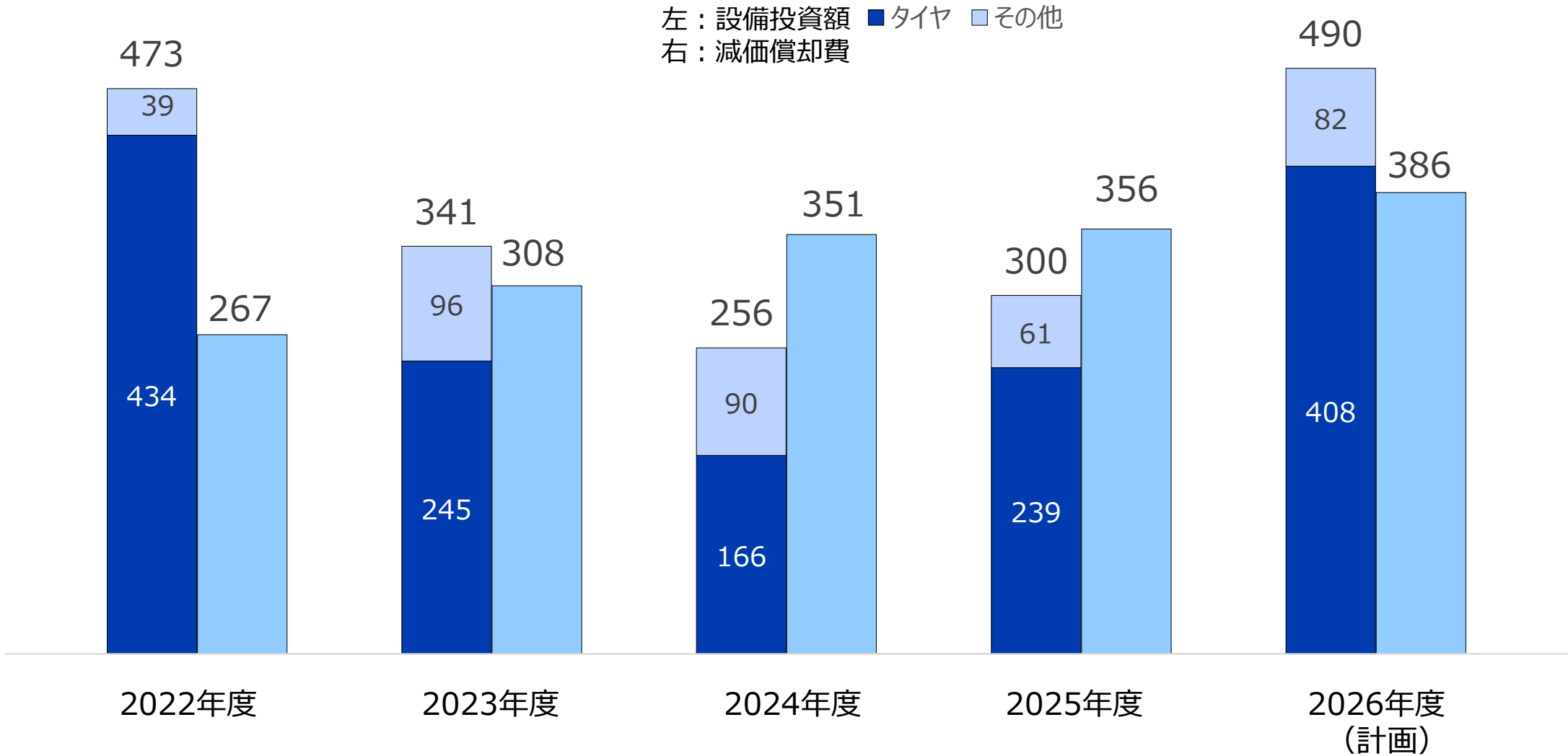


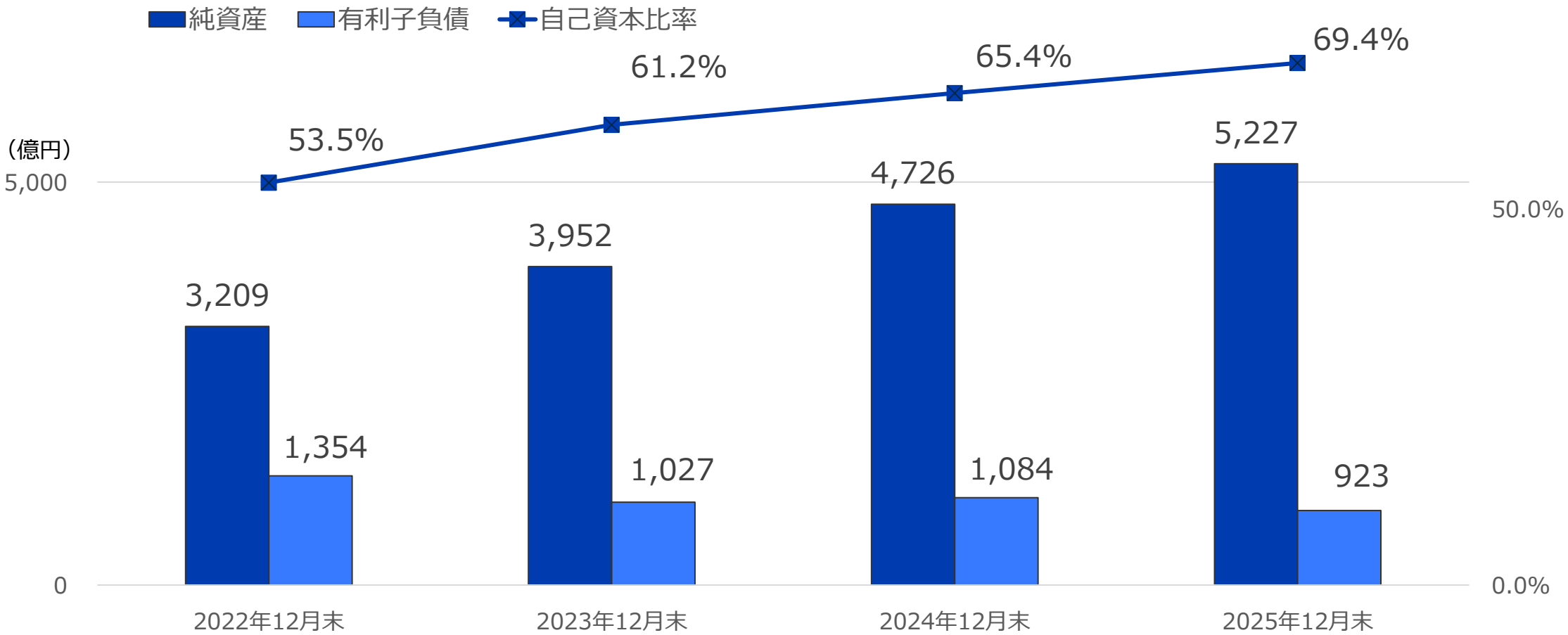
価格変動影響額（営業利益ベース） 単位：億円

2024年度						2025年度					2026年度
1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-12月		1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-12月	1-12月予想
△6	△7	△18	△28	△58	天然ゴム	△28	△26	△3	+11	△46	+5
+8	△3	△29	△17	△41	石化品	△3	+4	+22	+22	+45	△14
△2	+1	△3	△3	△7	その他	+3	△1	△3	+2	+1	△2
+1	△9	△50	△49	△106	合計	△28	△23	+17	+35	+0	△11

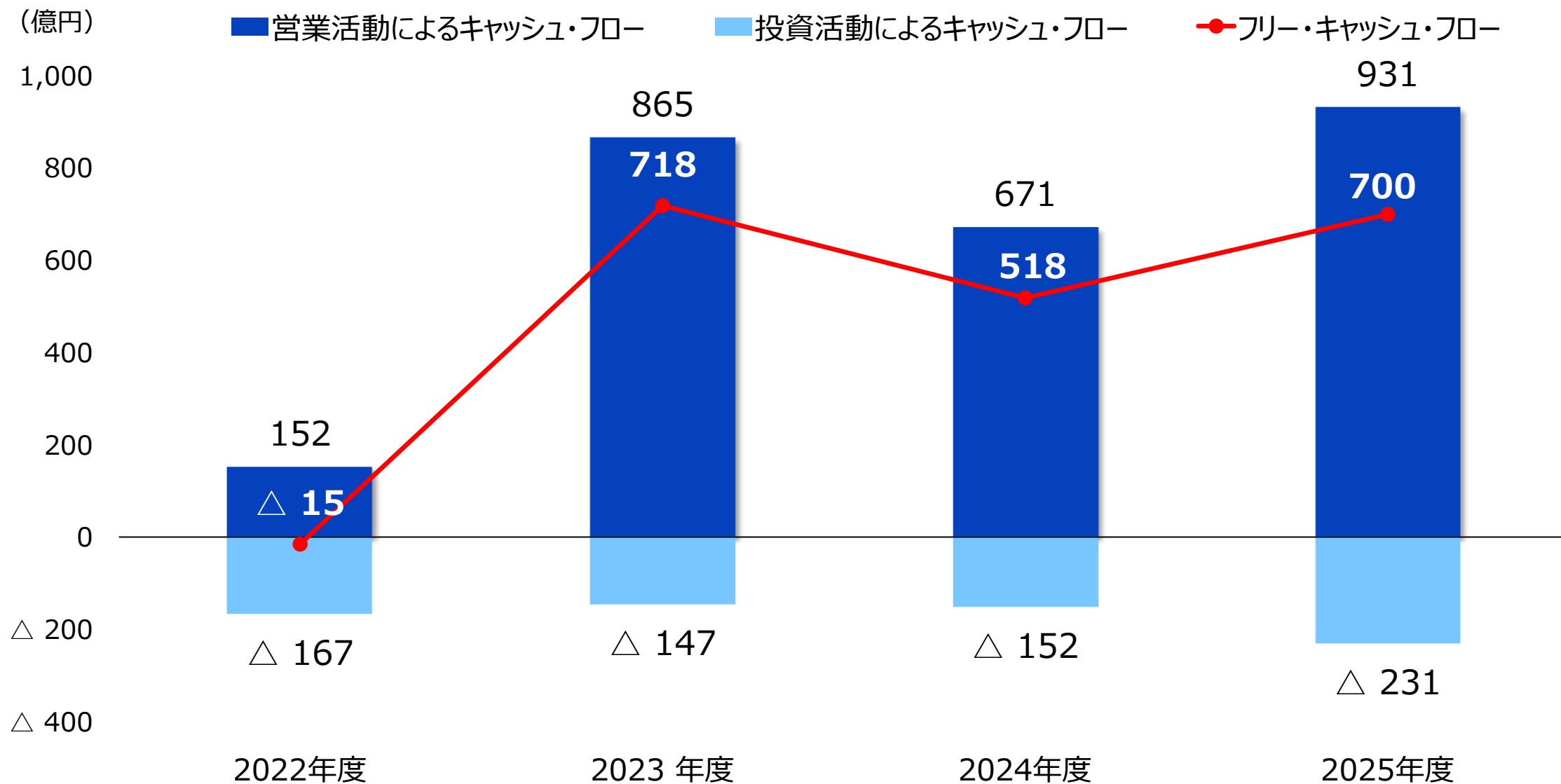
設備投資額と減価償却費（億円）

注）設備投資には使用权資産に関するものは含みません。減価償却費には使用权資産に掛かる部分を含みます。





	2022年12月末	2023年12月末	2024年12月末	2025年12月末
D/Eレシオ	0.42	0.26	0.23	0.18
ネットD/Eレシオ	0.29	0.13	0.05	△0.05



1. 2025年度 通期実績

2. 2026年度 業績予想

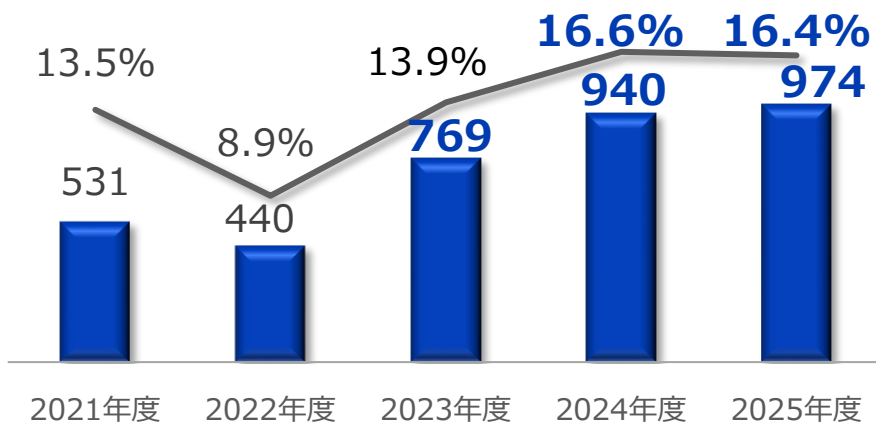
3. 経営施策 進捗状況

目標に設定したKPIは概ね達成、新たな中期経営計画は3月4日公表予定

営業利益率
14%超

営業利益
600億円
以上

収益性



配当性向※
30%以上

株主還元

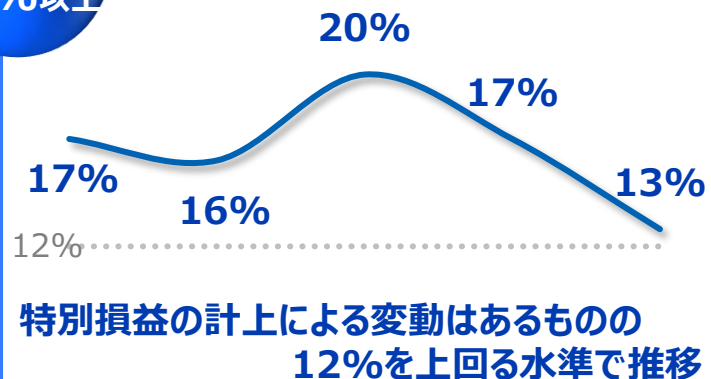
2025年度の1株当たり配当額は、3月27日開催予定の株主総会での承認を前提

※非経常的かつ特殊な損益などを調整した実力値ベース



ROE
12%以上

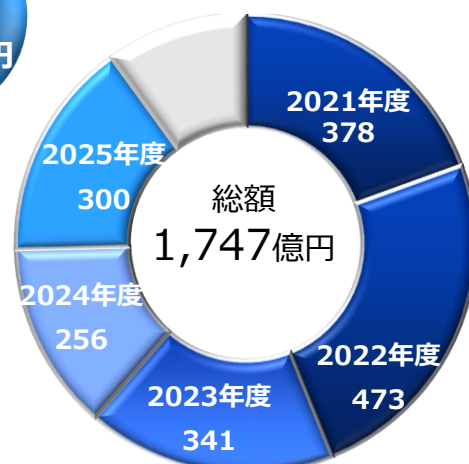
資本効率



2021年度 2022年度 2023年度 2024年度 2025年度

設備投資
5年総額
1,940億円

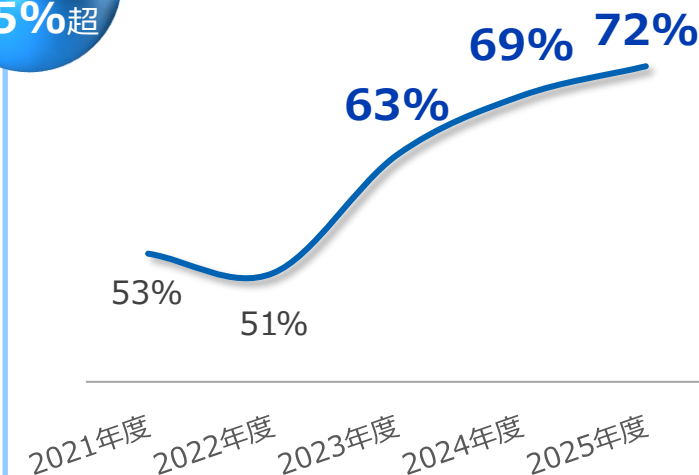
成長投資



設備投資額 (単位: 億円)、使用権資産に関するものは含まず

重点商品
販売構成比率
55%超

商品力・付加価値



環境の変化に応じて、迅速かつ柔軟に事業体制を変革

2021年●

6月 Silverstone工場閉鎖
(マレーシア)

8月 米国工場設備増強 フル稼働
(第5期第2次)



セルビア工場外観



初出荷の様子

2022年●

7月 セルビア工場での生産開始

2023年●

10月 事業基盤強化に向け米国の自動車部品工場を閉鎖
自動車部品事業の黒字化を前倒し達成

2024年●

商品ラインアップを絞り込み、付加価値の高い商品の販売を推進
日本での重点商品販売比率70%超を達成

2025年●

1月 欧州の販売拠点をセルビアに集約

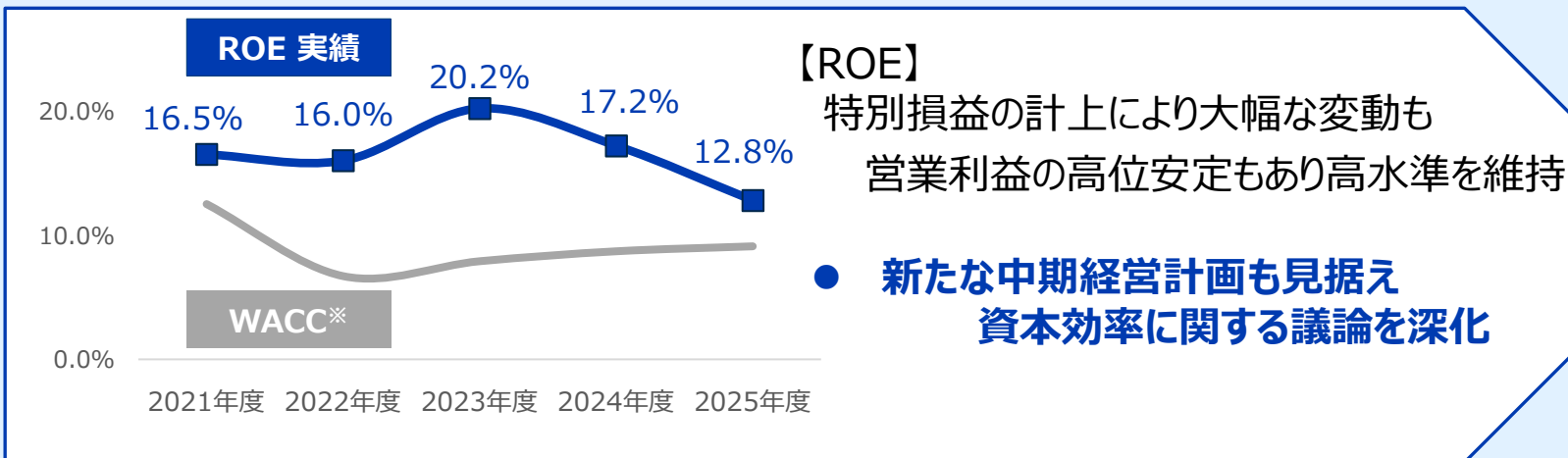
7月 中国生産子会社の持分譲渡 (非連結化)

単位：億円

自動車部品事業 営業損益推移



資本コスト・企業価値を意識した経営を継続推進








※WACC：株主資本コストと負債コストを加重平均した値



2026年度～ 新たな中期経営計画 活動期間

- ◆ 収益性の更なる向上に向けた
成長投資の積極推進
- ◆ 資本効率向上に資する施策の実行
- ◆ 新たな中期経営計画を軸にした
国内外の投資家との対話促進

マテリアリティの主な取り組み状況

価値創出	持続可能なモビリティ社会	モビリティの環境負荷低減と安全・安心	<ul style="list-style-type: none">▶ 【環境】 国内EV路線バス専用タイヤ「NANOENERGY M648 EV」発売。 EV特有のタイヤへの負荷に対応する耐摩耗性能、低電費を向上。再生ビードワイヤー使用。▶ 【安全・安心】 耐偏摩耗性能を大幅向上させたトラック・バス用オールウェザータイヤ「M630」発売。 タイヤコンセプトの企画および実運行データを活用した性能検証をお客様と共同実施。	 
	多様なモビリティライフ	走りの愉しみ	<ul style="list-style-type: none">▶ 新技術体系「THiiiNK」 材料技術/シミュレーション技術/デザイン技術を統合・体系化し、すべての商品開発に適用。▶ セルビアR&D新設決定 * 2027年より稼働 新配合・素材開発/混合技術の高度化、工場敷地内テストコース活用による商品開発早期化めざす。	
価値創出を支える基盤	多様な人財の挑戦と働きがい	社員エンゲージメント、多様性、ウェルビーイング	<ul style="list-style-type: none">▶ 第3回社員意識調査を実施し、第2回調査に基づくアクションプランの有効性を分析。▶ 「JPX日経インデックス人的資本100」の構成銘柄に初選定。	
	次世代モビリティの技術革新	サステナブル素材の使用拡大	<ul style="list-style-type: none">▶ 2030年目標40% - 実績30.2%（2025年末時点の生産品における重量ベース）▶ サステナブル素材使用比率96.5%のコンセプトタイヤを開発。 硫黄や酸化亜鉛といった代替困難だった素材のリサイクル化を実現。	
リスクマネジメント 価値創出を守る	全企業活動における脱炭素の推進	GHG排出量の削減	<ul style="list-style-type: none">▶ CDPの気候変動分野で最高評価「A」を獲得。 SBT認定取得、脱炭素施策、第三者検証済データの開示充実などが評価。	
	サプライチェーンのサステナビリティ	サプライチェーンの環境・社会リスク評価	<ul style="list-style-type: none">▶ 法的リスクに関するお取引先スクリーニングツールを本格運用。▶ 天然ゴム加工における自然資本への依存・影響評価に基づいた機会・リスクの洗い出しを完了。	
	品質と安全性	RFID※1技術活用	<ul style="list-style-type: none">▶ GDSO※2に加盟、タイヤの個体識別管理やトレーサビリティを可能にする業界標準化対応を推進。	

※1 Radio Frequency Identification（電波でICタグの情報を非接触で読み書きする自動認識技術）
※2 Global Data Service Organization for Tyres and Automotive Component（タイヤ関連のデータ標準化推進団体）

TOYO TIRES

OPEN COUNTRY



SCORE World Desert Championship
2年連続 総合優勝 (2024-2025)

TOYO TIRES

本資料に掲載されている業績予想や計画などの将来にわたる部分については、現時点で入手された情報に基づき判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。

従いまして、実際の業績は、さまざまな要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことを十分にご認識の上、ご活用下さい。